

以て、御鏡御酒をも供ふべきなり、

○按ズルニ、歳徳棚ノ事ハ、神祇部神棚篇ニ在リ、

〔家相秘傳集下〕節分の夜に、年越詣と稱し、翌年の歳徳方へ參詣するは理に當らず、其如何となれば、先節分といへるは、立春節に入の前日にて、乃當年の終なり、故に節分の夜は、當年無事に終りたるを喜悅、禮參の爲、其年の歳徳方へ詣るなれば、最も理なり、翌年の歳徳方へ參るは、恐らく節分の夜にはあるまじ、是立春節に入の翌朝、正しく新年となるを俟て、其新年の歳徳方へ詣り、當年安全守護の禮拜をなす、歳徳詣と云是なり、

金神方

〔假名曆略註〕金神 正説なし、或説に、庚申の神是を金神といふ、七殺とは、西方純金の氣を主どる方位也、金は殺伐を事とす、其數は七つ也、故に七殺といふ、此方より土を取或造作し、又は土藏を作る等に大に惡し、尤慎すんばあるべからず、凡金神に、天。金。神。有。地。金。神。有。天。金。神。は。陽。なるがゆへに其禍輕し、地金神は陰なるが故に其災大に重しといへり、但輕き造作修理等のことは、遊行の内にして苦しからず、雜書に間日を書は誤なり、

〔篋篋内傳一〕金神七殺之方

甲己歲、午未申酉方、 丙辛歲、子丑寅卯方、 戊癸歲、子丑申酉方、 庚乙歲、辰巳、戌亥方、

壬丁歲、寅卯戌亥方、

右此金神者、巨旦大王精魂也、七魄遊行而殺戮南閻浮提諸衆生、故尤可厭者也、

金神七殺異説之事 此説曆出

甲己歲、午未申酉、 乙庚歲、寅卯辰巳、 丙辛歲、子丑午未、 丁壬歲、寅卯戌亥、 戊癸歲、申酉子丑、

酉子丑、

金神遊行事